

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	重心児放課後等デイサービスはびねすネスト		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 1日		2026年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○従業者評価実施期間	2026年 2月 1日		2026年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 20日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員間での情報共有が行われており、チームで支援を行う体制が整っている。日々の打ち合わせや記録を通して子どもの様子や課題を共有し、支援内容の統一を図っている。	子どもが安心して過ごせる環境づくり。視覚的な支援やルールの明確化など、子どもが理解しやすい環境設定を行っている。	車椅子・バギーを使用している児童が個別に機能訓練できる広いスペースの整備が必要。 入浴希望者のためにシャワー浴対応の設備拡張が必要。
2	子どもの特性に応じた支援を行える環境が整っている。個々の特性や発達段階を踏まえ、個別活動と集団活動を組み合わせた支援を行っている。	個々の身体的機能に合わせた支援を提供している。理学療法士が監修した個別活動と集団活動を組み合わせ、無理のない形で社会性やコミュニケーション力の向上を目指している。	研修機会の充実。 医療的ケアを必要とする児童への専門的支援の研修や発達障害理解や支援方法についての研修を行い、職員の専門性向上を図る。
3	保護者との連携を大切にしている。日々の送迎時の情報共有や連絡帳を通して、子どもの様子や成長について共有している。	職員間での振り返り。支援後の共有や記録を通して、支援内容の見直しや改善につなげている。	関係機関との連携強化。学校や医療機関、相談支援専門員との情報共有をより積極的に行い、継続的な支援につなげていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	環境面の課題。 排泄支援のための個別スペースが十分に確保できない場合がある。	建物構造や部屋数のハード面に環境調整が難しい場合がある。	環境調整の検討。 パーティションの活用などにより、機能訓練スペースの確保を検討する。
2	保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしていない。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしていない。	日々の直接的な利用者支援で手一杯になり、家族支援まで手が回らない状況であること。	四半期に1回(年4回)程度の保護者会を定例化し、情報共有や悩み相談ができる場を設ける。
3			